

コンサルテーション事業報告

事業の名称	学校教育の評価分析 支援事業	事業代表者	清水 禎文
対 象	高等学校・中学校の校長・教頭・教務主任など		
目 的	中等教育機関における学校教育評価分析・支援活動を中心として、学校経営の質的改善に資することを目的とする。このため、主に学校において定期的に学校経営、教員支援、学習支援などの活動を行い、これらの事実を踏まえた評価分析活動の支援、相談業務等を実施する。		
実 施 日	月 2～4 回程度	実施回数	
		30 回程度	
実 施 場 所	学校 研究室		
主なスタッフ	清水禎文（助教） 柴山直（教授）		人 数
	有本昌弘（教授） 後藤武俊（准教授） 井本佳宏（准教授） 池田和正（D3）他		7 名
ス タ ッ フ の 活 動 内 容	<p>○学校経営支援 宮城県角田高等学校、宮城県仙台南高校における教育課程編成及び学校経営に関するコンサルテーション事業（6回）</p> <p>○カリキュラム開発及び学習支援活動 宮城県仙台南高等学校の「課題研究」開発支援及び学習指導支援（5回）。宮城県角田高等学校の「ICTを活用した授業の開発研究」（1回）。</p> <p>○学校評価アンケート等の評価分析支援 宮城県仙台二華中学校・高等学校における学校イメージ調査、学校評価アンケートの評価分析に関わる支援活動（19回）。</p>		

<p>事業実施内容</p>	<p>○学校経営支援</p> <p>宮城県角田高等学校及び宮城県仙台南高校における学校経営、教育課程改革に関する助言活動を行った。また教育課程編成を中心とする学校経営に関する評価分析を行い、両校に報告書を提出した。対象は同校の校長、教頭、主幹教諭、教務部長・主任、学年主任等であった。</p> <p>○カリキュラム開発及び学習支援活動</p> <p>宮城県仙台南高校における「総合的な学習の時間」を用いて展開されている「課題研究」の学習活動の観察および学習支援活動を行った。今年度の特筆すべき活動は、次期学習指導要領から導入される数理探求の授業開発と評価手法について支援したことである。</p> <p>○学校評価アンケート等の評価分析支援</p> <p>宮城県仙台二華中学校・高等学校と協働し、「学校イメージ調査」（7月実施）、「学校評価アンケート」（12月実施）の評価分析を行った。今年度の「学校イメージ調査」は2つの学年（1年生と2年生）の生徒および父兄を対象とした調査（およそ1200名）であり、「学校評価アンケート」は全学年の生徒・父兄を対象とした調査（およそ2000名）である。これらの調査票作成、評価分析を行い、学校経営改善のための参考資料を作成し、副校長・教頭・主幹教諭に報告した。また調査報告書は、同校学校評議員会資料としても活用された。</p> <p>○その他の相談活動</p> <p>学校視察及び相談活動（2校）を行った。</p>
----------------------	---